**第３回鳥取県救急医療体制高度化検討委員会（10月1日開催）の概要について**

平成２７年１０月７日

医療政策課

ドクターヘリの単独導入の必要性と課題及び対応策等を検討するため、「鳥取県救急医療体制高度化検討委員会（以下、「委員会」という。）」を設置し、第３回委員会を１０月１日に開催したので、概要を報告します。

**１　検討委員会報告書（案）について**

|  |
| --- |
| ○第１回及び第２回委員会の議論を踏まえた検討委員会報告書（案）について、概ね了承いただいた。また、追記すべき事項等について意見を頂いた。  ○今後、意見を踏まえ、修正を加え、検討委員会会長（魚谷県医師会長）に確認を頂き、最終の報告書とすることになった。 |

**２　主な意見について**

**（１）場外離着陸場について**

○防災ヘリ等が鳥大病院に搬送する場合、屋上ヘリポートに駐機しているドクターヘリは一旦退避する必要があるが、搬送のたびに、要請に備えて医師・看護師が搭乗した状態で上空で待機する方法や米子空港のような場所に退避する方法等は現実的でないので、病院近隣の場外離着陸場の整備が必要。（鳥取大学医学部附属病院　本間委員）

⇒・病院近隣の場外離着陸場である米子港の利用を検討することで了解された。

**（２）民間医療用ヘリコプターについて**

○ドクターヘリのメリットは365日稼働できることだが、民間医療用ヘリコプターは365日対応できないことが最大のデメリットである。また、航空業界が定めたガイドラインにより、ドクターヘリは整備士が同乗する必要があるが、民間医療用ヘリコプターはその制約がないので、安全性に非常に問題がある。その違いを明確にすべき。（救急ヘリ病院ネットワーク　篠田委員）

⇒・報告書（案）に追記する。

**（３）格納庫設置候補地について**

○基地病院となる鳥取大学医学部附属病院敷地内は非常に手狭で、格納庫を設置するのは難しいため、一番大きな問題は格納庫設置の検討である。（県立厚生病院　井藤委員）

○鳥大病院周辺には米子市の湊山公園があり、格納庫設置候補地として活用できないか。米子市と協議されたか。（米子市社会福祉協議会　後藤委員）

⇒・候補地については米子市や関係者にも情報提供いただき、可能性がある場所を列記したもの。限られた時間の中で速やかに実現できる場所であることも必要な要件である。

**（４）ドクターカーについて**

○ドクターカーの県東部・中部への導入が望ましいという意見に賛同する。県立中央病院は平成３０年に新病院が完成するので、しかるべき時期に東部消防局との連携で、ドクターカーの導入を検討したい。（県立中央病院　日野委員）

**（５）今後専門的な検討が必要になった場合の対応について**

○検討会は第３回で終了予定だが、事務局が更に委員会での検討が必要と判断された場合には、検討するという心構えを会長にしていただく方が良いと思う。（県町村会　森安委員）

⇒(会長)委員の任期は３月末なので、そういう場合には委員各位にも御協力いただきたい。